

「^{うま}美し国おこし・三重」の取組について

(これまでの取組)

1 地域での^{うま}美し国おこし

(1) 「座談会」等の開催状況

「地域づくりに取り組んでいる」または「これから始めようとする」住民の皆さんを対象に、地域の課題や将来の展望を語る場である座談会や説明会等を市町と調整の上、平成22年4月～23年1月に484回、延べ1,101回開催しています。

(2) パートナーグループ登録の状況

「^{うま}美し国おこし・三重」の取組の趣旨に沿って、自発的に地域をより良くしていこうとする活動を行うパートナーグループに、平成22年4月～23年1月に89グループ、延べ242グループに登録していただきました。

(3) サポートメニュー

① 人材育成研修

ファシリテーション研修、広報・情報発信研修を平成21年度から3年間にわたり、それぞれ県内3箇所で開催しています。本年度は、あわせて延べ82名の方に受講いただきました。

② 専門家派遣

一次製品の直売所の経営や地域資源を活用した商品開発など、パートナーグループの取組を活性化するために、本年度は平成23年1月末現在で、13件(延べ26回(日))の専門家の派遣を行っています。

③ 財政的支援

パートナーグループによる地域づくりを進めるため、必要な初期投資に係る費用を対象に、本年度は7件、市町と合わせて約501万円(うち実行委員会負担約285万円)を支援しています。

- ・NPO法人三重ドリームクラブ(津市)
「手作り甲冑隊で使用する太鼓やのぼり等の購入」
- ・亀山みそ焼きうどん本舗(亀山市)
「調理機材やPR用の着ぐるみ等の購入」
- ・麻生の浦会(鳥羽市)「味噌づくりに必要な調理器具の購入や施設整備」
- ・ごたーげさん(木曾岬町)
「規格外トマトを活用したトマトソースを生産するための施設整備」
- ・元丈の里 営農組合(多気町)
「米を米粉に加工するための高速粉碎器の購入」
- ・海守り(紀北町)
「海の環境教育プログラムに必要なデジタルカメラや顕微鏡等の購入」

- ・大紀ふれあいまつり実行委員会（大紀町：市町・パートナーグループが参画した実行委員会等への支援）
「大紀ふれあいまつりに必要なスタッフジャンパーやのぼり等の購入」

(4) 拡大座談会

- ① 熊野地域・合同拡大座談会（三重県青年農業士連絡協議会と共催）
開催日：平成22年8月17日（火） 参加者21名
- ② 拡大座談会 in 菰野（菰野町社会福祉協議会と共催）
開催日：平成22年9月30日（木） 参加者93名
- ③ 「熊野古道伊勢路」語り部・ガイドの会拡大座談会
開催日：平成22年10月1日（金） 参加者36名
- ④ 桑名市拡大座談会（桑名市と共催）
開催日：平成22年10月2日（土）～10月3日（日） 参加者100名
高校生・大学生によるポスター製作キャンプ
ポスター一般公開、大学生・高校生による発表、対話の場
協力：慶應義塾大学環境情報学部加藤文俊研究室、四日市大学研究機構

2 テーマに基づき全県的に取り組む^{うま}美し国おこし (平成22、23年度)

「人と自然の“絆”づくり」の理念に基づき、テーマを「海の命・森の命」として取組を展開しています。（今後の予定は別紙参照）

3 「^{うま}美し国おこし・三重」成果発表（活動報告）・交流会

(1) 成果発表・交流会の開催（平成21年度）

開催日：平成22年6月6日（日）参加・来場者 約2,200名

場 所：メッセウイング・みえ展示ホール

内 容：①「^{うま}美し国おこし・三重」の取組

②キックオフプロジェクトの紹介

③パートナーグループのステージ発表

④ワールドカフェ（大規模交流会）

⑤トークタイム～「^{うま}美し国 三重」の未来を語る～

⑥パートナーグループを始めとする団体の活動の展示・体験・物販

(2) 活動報告・交流会

開催日：平成22年12月18日（土）参加者 約600名

場 所：三重^{うま}大学 三翠ホール

内 容：①「^{うま}美し国おこし・三重」のこれまでの取組の活動報告

②ワークショップ

ア ソーシャルレジャーで楽しく環境活動しよう！

イ 資源循環のしくみづくりを広めよう！

ウ 新たな体験交流プログラムを作ろう！

③ワールドカフェ方式で行う大規模な交流会

「テーマに基づき全県的に取り組む^{うま}美し国おこし」今後の予定について

1 人と自然、人と地域の絆づくりにかかる桑員地域拡大座談会

当拡大座談会では、桑員地域で地域づくりに取り組まれる皆さんの新たな交流・連携の場としていただくとともに、体験プログラム・ツーリズムを切り口に、地域や分野を越えて、人と自然、人と地域の絆づくりにかかる新たな取組やテーマプロジェクトの具体化をめざします。

日時：平成23年2月12日（土） 10：00～16：45

場所：三重県立いなべ総合学園高等学校（いなべ市員弁町御園632）

主催：「^{うま}美し国おこし・三重」実行委員会

共催：いなべ市、東員町、とういんボランティア市民活動支援センター

協力：三重県立いなべ総合学園高等学校、三重県立桑名西高等学校放送部、三重県立相可高等学校食物調理科

概要：体験プログラム・ツーリズムの実践や特産品の販路開拓など地域資源を生かした地域づくりのヒントとなるゲストトークや観光甲子園本選出場校の高校生によるプレゼンテーション、ドキュメンタリー映像の上映を行います。これらをきっかけに、具体的な地域のヒカリの魅せ方についてワークショップを開催し、今後の地域のパートナーグループ等の皆さんの取組やテーマプロジェクトの具体化につなげるとともに、参加された皆さんの交流・連携を図ります。

* 参加については事前申込制で、既に定員を超えていますが、ご希望の場合は事務局までご連絡ください。（Tel：059-224-2644）

（主な内容）

①ゲストトーク 講師：NPO法人吉備野工房ちみち代表 加藤せい子氏

②高校生による地域の魅力発信

・第2回観光甲子園本選出場校によるプレゼンテーション

横浜市立みなと総合高等学校、和歌山県立新翔高等学校

・ドキュメンタリー映像上映

島根県立隠岐島前高等学校「ヒトツナギ」の旅

③ワークショップ1～3

2 竹プロジェクト

竹林被害が全国的な問題として広がっており、三重県内においても、様々な住民グループによって竹林伐採の活動が行われ、伐採竹の有効活用についても企業を始めとして各分野で研究や事業化が進められています。竹林の整備や活用といった取組を一層推進するため、「竹」を中心に活動しているグループの輪を、さらに広げていくきっかけとなる取組を行います。

○ 竹メッセ in 多気

竹を中心に活動するパートナーグループや企業、研究機関、ボランティアに関心のある皆さんとともに、竹を有効活用したアイデアを募り、竹循環の多様なモデルプロジェクトが実践される仕組みづくりをめざします。また、竹のビジネスモデルやグループ間のネットワーク構築へとつなげていきます。

日時：平成23年3月6日（日） 10:00～16:00（開場9:30）

場所：多気町民文化会館（多気町相可1587-1）

主催：「^{うま}美し国おこし・三重」実行委員会、たき環境くらぶ“竹遊号”（ちきゅうごう）

共催：多気町、三重県

概要：基調講演：藤井透氏（同志社大学教授）、筍料理体験、活動報告（パートナーグループ、企業、三重県林業研究所）、交流会、ブース展示など

* 参加については事前申込制です。ご希望の場合は事務局までご連絡ください。
(Tel: 059-224-2644)

3 まるごとソーシャルレジャー発信プロジェクト

自然環境の継続的な保全・再生の活動に、より多くの参加者や協力者を得るため、多くの住民の皆さんに楽しみながら参加していただけるよう、『ソーシャルレジャー』の考え方により、海浜清掃や竹林整備などの社会貢献活動にバーベキューや竹を使った加工品づくり等の楽しみを加えた取組として、情報発信しています。

○ Yahoo!ボランティアによる情報発信

Yahoo!ボランティア（ホームページ）の機能を利用して、平成22年11月にソーシャルレジャーのコーナーを新設し、情報発信しています。

ホームページアドレス：<http://volunteer.yahoo.co.jp/>

※ トップページは4パターンあり順不同で登場します。このため、コーナー開設ページを表示するために上記アドレスを2～3回更新していただく必要がある場合がありますのでご留意ください。

ソーシャルレジャーで休日を楽しもう NEW!

「ソーシャルレジャー」は、レジャー感覚で楽しみながら社会の役にも立つというボランティアの新しい考え方。援農やごみ拾いなど、親子や友だちと気軽に参加できてしかも安上がり。そんな活動をご紹介します！

- 「ソーシャルレジャー」って？
- 「ソーシャルレジャー」の募集情報
- 「美し国おこし・三重」でも地域支援(外部サイト)
- 「ゴミゴ」のごみ拾い体験へ
- 親子で！綾瀬ハーモニカ清掃
- 新潟で親子で村おこしに協力！

気になるワードで検索してみよう

農業 援農 ビーチクリーン 親子 植林
ごみ拾い キャンプ 里山 エコツアー